

平成28年度

阿南市立山口小学校 「学力向上実行プラン」

研究テーマ

- 1 児童が自ら考え、判断し、成就感を味わうことができる学習活動の展開
- 2 互いの考えを伝え合う話し合い活動の活性化
- 3 家庭学習・家庭読書の充実

(1)基礎的・基本的な知識・技能の習得

児童生徒の状況	具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よ さ 漢字の読み書きや整数の四則計算などについては、ある程度定着がみられる。	①国語や算数の基礎的知識・技能を確実に身につけることができる。 ②話し手を見て、受け止めながら聴くことができる。	①基礎的基本的な事項についての確認テストの正答率を85%以上にする。 ②常に話し手の方を向いている。			
課 題 既習事項を忘れていたり、習得状況に個人差が見られたりする。 話を聴く態度が身につけていない児童がいる。	具体的方策(教員の取組) ①国語・算数のドリル学習と確認テスト、既習事項の復習を継続して行う。児童一人ひとりの課題を把握し、個別に支援する。 ②モデルを示し、話し合いの基礎となる聴き方を身につけさせる。	取組指標 ①単元ごとに定着確認テストを行う。月に1回は既習事項を復習する。 ②月に1回は児童の聴き方を評価する。		評価	次年度における改善事項

(2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況	具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よ さ 音読や劇の発表など、方法や手順のわかっている表現活動には意欲的に取り組める。 積極的に自分の意見を発言できる児童が増えてきた。	他の人の考えを聴き、自分の考えをまとめて、話したり書いたりして、伝え合うことができる。	①友達の発言を聴いて発表できている児童を70%以上にする。 ②考えを書くことが好きと答える児童を50%以上にする。			
課 題 他者の考えを聴き、自分の考えを説明する力に課題がある。	具体的方策(教員の取組) 学習活動の中で、自分の考えを書く活動を意図的に設け、ホワイトボードやICT機器を用いて発表させる。	取組指標 1日1回は、自分の考えを書いたり、発表したりする活動を取り入れる。		評価	次年度における改善事項

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況	具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よ さ 与えられた課題にはまじめに取り組む児童が多い。 自主的に家庭学習に取り組む児童が増えてきている。	①主体的に授業に取り組むことができる。 ②家庭で、学年の目標時間以上学習をすることができる。	①学習後の振り返りで、すすんで学習した児童を、70%以上にする。 ②学年に応じた目標学習時間を達成できた児童を80%以上にする。			
課 題 少人数のため、学習が受け身になりがちである。 宿題以外の自主学習の取組や読書量については、個人差がみられる。	具体的方策(教員の取組) ①児童の実態や課題をもとに、適切な学習課題を設定する。 ②家庭学習充実月間を設け、家庭学習振り返りカードを用いて家庭と協力して取り組むことができるようにする。	取組指標 ①研究授業のたびに、目標設定の仕方について話し合う。 ②自主学習がよくできている児童を称賛する。		評価	次年度における改善事項

平成28年度 学力向上ロードマップ

